

水力発電所等建設工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	7	16~17	堤体右岸斜面を、親綱口リップを使用して降りたのち平場で口リップを外して移動した際に、測線明示用のコンクリート釘が靴底に引っかけて転倒して、右足を受傷した。	56	417	2	1 ~ 9
2017	7	14~15	被災者は、コンクリート骨材の受入設備において、ダンプ誘導・輸送コンベアの運転管理に従事していた。骨材投入口のベルトコンベアで電流値の振れ幅が大きい箇所があったので点検に行き、コンベア稼働中に防護カバーを開けたとき、ラチェットレンチを手から滑らせて回転部付近に落とした。ラチェットレンチを拾おうとして手を突っ込んだため、左手薬指がローラーに挟まれた。	38	224	7	1 ~ 9
2017	9	10~11	選択取水設備（水門設備）塗装塗替作業中に、作業足場上において、作業足場と水門扉との間の開口部があり、約7.2mから墜落災害が発生した。	38	411	1	10 ~ 29
2017	10	7~8	現場事務所の駐車場で夜間作業で使用する投光機のバルーンを荷降しする際バルーンのタイヤをロックせずに作業していたところ、タイヤが動き出し急いで手で押さえたが間に合わず倒れるのを避けた際転倒し負傷した。	65	611	2	10 ~ 29

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html